

持続的海域利用WGの活動報告

ワーキンググループ(WG)の趣旨

- ・他海域に比べて大きく立ち遅れている石西礁湖及び周辺海域での持続的海域利用の実現に向けた戦略立案とその社会実装に向けた具体的な取り組みの核となる様々な関連機関・団体からなる横断的・機動的な活動組織として設置
- ・当面の主要な取り組みとして、「石西礁湖自然再生全体構想行動計画2024-2028」における重点項目の一つである「石西礁湖における持続可能な観光利用ガイドラインの作成と活用」に向けた既存事例の情報収集ならびに石西礁湖の現状整理と課題抽出を行う。
- ・それらに基づいて、ステークホルダーとの調整・協議を経てガイドラインを作成するとともに、その活用方法の検討を行う。

会議の開催状況

No	年月日	活動	主な内容
1	令和7年 3月24日	第1回WG	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成員挨拶 ・ 石西礁湖の現状共有 ・ 主要な課題に関する意見交換 ・ 今後の流れについて
2	令和7年 6月30日	第2回WG	<ul style="list-style-type: none"> ・ サブグループ（SG）の設置について ・ 勉強会（仮称）の実施について ・ 情報共有 ・ 主要な課題に関する意見交換
3	令和7年 7月28日	第1回安全管理・環境 配慮SG	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドライン作成に向けた課題抽出①
4	令和7年 8月27日	第2回安全管理・環境 配慮SG	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドライン作成に向けた課題抽出②
5	令和7年 10月27日	第3回安全管理・環境 配慮SG	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドライン素案に関する議論 →対象を石西礁湖だけでなく、実効性をもたせるため周辺 海域も含めることを決定
6	令和7年 11月25日	第3回WG	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「石西礁湖及び周辺海域のマリンレジャーにおける持続可能な海域利用ガイドライン」（事務局案）に関する議論 →海岸利用が多いエリアもあることから、「海域・海岸利用」とする。
7	令和8年 1月21日	令和7年度第2回普及 啓発・ 適正利用部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「石西礁湖及び周辺海域のマリンレジャーにおける持続可能な海域・海岸利用ガイドライン」（案）の提示

ガイドライン案の概要（1）目的と対象

【目的】

- ・海域・海岸の安全確保
- ・サンゴ礁生態系の保全
- ・地域との共存
- ・持続可能な観光の実現

【対象】

- ・マリンレジャー利用者
- ・マリンレジャー事業者
- ・プレジャーボート事業者 等

ガイドライン案の概要（２）一般利用者向けの基本方針

【安全確保】

- ・体調管理の徹底(過労・飲酒・睡眠不足NG)
- ・ライフジャケット着用・複数人行動
- ・気象・潮汐情報の事前確認
- ・ツアー参加の推奨

【環境配慮】

- ・サンゴに触れない・立たない・蹴らない
- ・餌付け禁止・採取禁止・ゴミ持ち帰り

【地域配慮】

- ・御嶽等立入禁止区域の厳守
- ・迷惑駐車禁止・ドローン事前申請

ガイドライン案の概要（3）事業者を求める基本事項

【法令・条例遵守】

- ・沖縄県水難事故防止条例
- ・小型船舶操縦者法 等

【安全管理体制】

- ・ガイド配置・監視体制確立
- ・器材点検・バディシステム徹底
- ・CPR・救助訓練実施
- ・気象悪化時は中止判断

【安全装備】

- ・業種別必須装備の徹底
- ・通信手段の確保

ガイドライン案の概要（４）環境に配慮した事業運営

- ・サンゴ・生物に関する事前ブリーフィング
- ・餌付け・投棄禁止
- ・浅いリーフ域での立入配慮
- ・環境に配慮したアンカーリング
- ・海鳥営巣地への立入禁止

【適正な案内参加者数(目安)】

- ・体験ダイビング:1名につき2名
- ・スノーケリング:最大8名
- ・SUP:風速条件に応じ2～5名
- ・カヤック:最大5艇

ガイドライン案の概要（５）地域と共生する持続可能な海域利用へ

- ・漁業活動への配慮
- ・違法採取の禁止
- ・駐車・送迎時の近隣配慮
- ・ローカルルールの遵守

【目指す姿】

安全 × 環境保全 × 地域配慮

= 石西礁湖の価値を守りながら楽しむ観光

今後の予定

- ・WG、部会でガイドライン案の検討を継続し、R8年度協議会で承認を目指す
- ・ガイドラインの活用に向けた検討を開始